

2023年度 放課後等デイサービス ハグ 事業報告

1. 事業目的・経営方針

障がいの有無に関わらず発達の個人差により生活の困難さのある、地域子ども達及びその家族が通所し、日常生活における基本的動作の指導、自活に必要な知識や技能の付与または集団生活への適応のための訓練に取り組んできた。

またスローガンを「ハートゆたかにグッドな毎日」とし、児童の個性を生かし、特技を見つけ豊かさを育めるよう、安心できる場の提供に努めた。

2. 組織体制

【Ⅰ】利用定員

事業所名	定員	対象障害	対象年齢
放課後等デイサービス ハグ	10	重度心身症 以外	就学児

【Ⅱ】職員構成

職員数7名（正規職員4名 非常勤職員3名）2024.3.31

管理者・児童発達支援管理責任者	1	保育士	(2)	児童指導員	3 ※(1)
看護師	※1				

- ・() 内数は非常勤職員
- ・※は兼務

3. 営業時間

【営業時間】※()内はサービス提供時間

月曜日～金曜日 9:30～18:30 (14:00～17:30)

第1・3土曜日・祝日(不定期) 8:00～17:00 (9:00～15:00)

※第1週、第3週土曜日には中高生以上を対象とした活動を実施予定し、それに伴い第2、4月曜日を休所とした。

4. 事業概要

目的

定員10名に対して、学校終了後に送迎を行い、月曜日～金曜日毎にグループを分け、基本的な生活動作、また集団生活への適応を図り、SST、小集団活動、個別学習等を実施。毎月第1・3土曜日の中高生以上を対象とした療育においては、社会・コミュニケーション、生活スキルの向上を目的とした活動を行った。また、祝日は希望者を募り平日では行えない親子(家族)療育を開催し、保護者の学びと交流の機会を持つことができた。

(1) 契約者数 (2024. 3.31)

	小学生	中学生	高校生
契約者総数	32	17	2

医療的ケア児	0	0	0
措置児童	3	0	0

計 51 人

昨年比 (+9 人)

(2) 年間実績 (延べ人数)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
206	212	235	210	185	211
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
220	207	183	173	194	175

年間延べ利用者数 計 2411 人

昨年比 (+317 人)

(3) 主活動・行事関連

- 1 個別学習・個別面談
- 2 集団活動 (SST・サーキット・フィールドトレッキングなど)
- 3 公共施設の利用 (図書館や環境センター・愛林館訪問、公共交通機関の利用、買い物体験など)
- 4 クッキング
- 5 製作活動
- 6 地域行事への参加 (オリーブの木の子ども地域食堂ポパイへの参加など)
- 7 その他、季節に合わせた活動 (花見、川遊び、サイクリングなど)
- 8 祝日の親子 (家族) 療育の開催

5. 職員処遇

【1】職員研修

- 1 県 (こども総合療育センター、発達障がい者支援センター等) 主催の研修参加。
- 2 自主研修実施
 - ①内容『発達障害疑似体験』『保護者支援』『就労までに準備しておくこと』
講師：南部発達障がい者支援センター わるつ
※地域の療育事業所にも呼びかけた
 - ②内容『アセスメントの方法』講師：こども総合療育センター
- 3 にこにこ主催研修参加
内容『ペアレント・プログラム (全 6 回)』講師：南部発達障がい者支援センター わるつ

6. 権利擁護

権利擁護及び苦情解決体制

- 1 2023 年度の苦情報告なし
- 2 権利擁護のためのチェックリストの実施
- 3 保護者からの施設評価を行いホームページに掲載
- 4 「センター長直行便」を用い、毎月の職場の改善や要望等を自由に発言できる機会を設ける (web アンケートを使用)

7. 危機管理

管理規程に定めている事故防止規程の徹底を図り、通所児童の安心・安全を守る為、より一層の体制強化と危機管理の徹底を図った。

【Ⅰ】防災訓練

- 1 消防計画を元に防犯訓練（年2回）避難訓練（毎月）を実施。防犯訓練は同建物内別事業者協力
- 2 月1回の職員会議に事故防止委員会・虐待防止委員会を設け、該当月のヒヤリハット事案を作成

【Ⅱ】事故防止

月に一度事故防止委員会・虐待防止委員会を開き、事案の見直しを行い再発防止のための改善案の検討及び子どもの様子観察チェックを実施した。

（2023.4.1~2024.3.31）

環境的な要因	17件
怪我（受診までは至らない）	8件
怪我（数日間の治療・通院）	0件

8. 地域交流支援

- 1 校内研修講師 佐敷小学校『感情コントロールが苦手な生徒への支援』
- 2 圏域内療育事業所へ勉強会の呼びかけ及び交流
- 3 ホームページの運営
- 4 事業所見学の受け入れ
- 5 療育活動の中でオリーブの木の子ども地域食堂ポパイにスタッフとして子ども達も参加

9. 施設整備

- ・ 水俣市による全館、誘導灯の設置
- ・ 害虫駆除
- ・ 敷地内除草作業

10. その他

後援会組織

ひかりどうえんを支える会
2023年度は資金援助なし